



お盆

ご先祖様の霊をお迎えして、供養をする行事です。この日は亡くなった方々の魂が戻ってくると言われています。家族や親せきが一緒に過ごし、仏壇、お墓の前で手を合わせることは、たくさんの人々とのつながりを感じるこのできる良い機会です。

立春



今年の8月8日は二十四節気のひとつ「立春」です。この日以降の暑さを「残暑」といい、暦の上では秋になります。暑い日が続きますが、風が涼しくなって来たり、雲の高さや形が変わってきたりなど、少しずつ季節の変化を感じることが出来ます。

鼻の日

8月7日は鼻の日です。鼻は呼吸をするときに、ほこりや菌などが入らないようにするフィルターの役割をします。また、においをかいだり発音をするときの手助けをしたりなど、いろいろな働きがあります。鼻の役割を知り、日ごろから健康に気をつけて生活しましょう。

コロナ渦でも楽しい保育に向けて

新型コロナウイルスの感染が拡大し始め、広島県でも新たに感染する人の人数が増えてきました。無症状の方もおられ、いつ感染者が出てもおかしくない状況になりつつあります。

7月23日20時、本当であれば日本でオリンピックの開会式が行われるはずだった前日に、池江璃花子さんが、全世界へメッセージを送りました。『1年後、オリンピックやパラリンピックが行われる世界になっていて欲しい。スポーツは人に、勇気と絆を与えてくれる。逆堺から這い上がるには希望の光が必要。オリンピックまでのこの1年が、単なる延期ではなく、「プラス1」と考える。これは未来志向でとても前向きな考え方。開会式が出来る様、希望の炎が輝いて欲しい(途中略)』。

とても感動しました。当たり前の未来は、一夜にして別世界に変わる。池江さんご自分の病氣と闘い、もう一度泳ぎたいという希望に向かい、想像もできないくらいの努力をされていることと思います。新型コロナウイルス感染が拡大しているこの世の中、今まで経験したことのないことがおこり、様々な場面で当たり前を見直す機会となっています。私たちも今できる最善のこと、コロナ渦でも楽しく保育が出来ることを考え、幸せな時間を子どもたちと過ごしていきたいと考えています。これからも、コロナが収束するまでは一人ひとり自覚を持って、マスクの着用、手洗い、密を避けるよう行動を控えて下さい。園が閉園しないようご協力よろしくお願い致します。

先日年長クラスを中心に、夏祭りごっこを開催しました。「どんなお店にする?」「おばけやしきをしてみたいね!」など、年長の子どもたちは意見を出し合い、自分たちで考え意欲的にお化け屋敷で飾るもの、店で売るもの、役割を決め準備をはじめました。ポスターも作り、お店で売るのは朝夕のあそびの中や各クラスでも作り、当日を迎えました。園庭で踊る予定の盆踊り、当日はひどい雨だったので、各クラスへ年長さんが分かれて行って踊ることになりました。はっぴを着て、赤組に行く年長グループさんは、「おまつりといえばこれでしょう!」と話し合い「わっしょい!わっしょい!」とかけ声をかけながら、廊下を移動する勇ましさ、なりき

ている姿が素敵でした。盆踊りを楽しんだら、さあ、お店のオープンです。「いらっしゃい、いらっしゃい!」と威勢のいい呼び声が聞こえてきました。お化け屋敷の担当の子どもは、服を着替えたり、マントやお面、顔つきまで変え、お化け屋敷でひそかに待っておりました。

夏祭りごっこをするにあたり、子どもたちが「こんなものつくってみたい!」「ポテトがまだ足りないね。」「わたしはさだこになってみる。」「床に寝るとびっくりするかもね。」「ぼくはきょんしーになるよ。」など、自分が知っている知識を引き出したり、子どもたち同士で意見を出し合っていました。「それいいね」と認められたり、時々意見がぶつかり合うこともありましたが、折り合いをつけたり、我慢したり、担任の先生からもヒントをもらいながら、お祭りごっこは作り上げられて行きました。お部屋に日々いろんなものが作られ、飾られて、お化け屋敷ができあがっていく様子を見るのもわくわくしました。子どもが主体となって行事が行われること、年長クラスとしてとても頼もしかったです。そして、子どもたちだけでなく、私たち保育士も、保護者の方も楽しかった~と思える夏祭りごっこでした。当日は自分たちが考えたことが実現でき、達成感を味わえたことと思います。

乳児クラス0、1歳児の子どもたちは夕方、保護者の方と一緒にまつりの品物を選び、ヨーヨーつりを楽しみました。次の日の土曜日もお祭りでもらったプレスレットを手に付けて持って来ている子もいました。「とっても嬉しかったようです。」とお母さんが話してくださいました。手作りのプレスレットを大切にしてくれる姿、そしてそれを持って来させてくれたお母さんにも感動しました。お祭りごっこで子どもが楽しかったことを、保護者の方が一緒に共感すること、とても大切なことです。

今まで通りに行事を行うことが難しくなってきました。しかし、どんな風にしたら子どもたちが楽しんでくれるか、みんなで案を出し合い、いつもの年がない、コロナ渦でも楽しい行事、あそびを引き続き展開していきたいと思ひます。

くまの・みらい保育園 園長

あそびはつづくよどこまでも

夏祭りごっこ

いらっしゃい!
いらっしゃい!



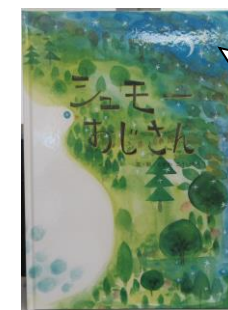
いれてあげるね!!



夏祭りごっこ、大成功!!



絵本の紹介



当園でお世話になっているとこ先生が描かれた絵本です。原画は卒園した子どもたちの側で、描いていただきました。

沖縄在住の安里有生くんが小学1年生の時に作った詩が絵本になりました。

